**図画工作科学習指導案**

○○○○○○小学校

指導者　○○○○○

**１　日　　　　　時**　　　　　令和○○年○○月○○日（○）○校時

**２　場　　　　　所**　　　　　第○学年○組　教室（〇校舎〇階）

**３　学 年 ・ 学 級**　　　　　第４学年○組　　○名

**４　題　　材　　名**　　　　わたしの宇宙の物語

「A表現（１）イ」「A表現（２）イ」「B鑑賞（１）ア」「共通事項（１）ア,イ」

**５　題材の目標**

（１）・宇宙にあるものをかくことを通して、形や色などの感じ、それらの組み合わせによる感じが分かる。

・水彩絵の具や筆などを適切に扱うとともに、前学年までの描画材などついての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。

（２）・形や色、それらの組み合わせによる感じをもとに、自分のイメージをもつ。

・感じたことや想像したことから表したいことを見付け、形や色などを生かしながらどのように表すかについて考える。

　　 　・自分や友だちの作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。

（３）・宇宙にあるものを表したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

**６　題材について**

**（１）児童観**

　　　省略

**（２）題材観**

　　　「宇宙」という言葉や映像などから想像を広げて表すことを通して、思考力・判断力・表現力等を培う絵画の題材である。「宇宙はこうなっているのではないか」「こんな惑星はある」「宇宙人はこんな姿なのでは」といろいろな宇宙を考え、そのわたしの宇宙を表しながら楽しく物語を考えて絵に表すことができる。これまでの材料や用具についての経験を生かしたり、新たな表現方法を見付けたりして表現をするこができる題材である。

**（３）指導観（宇宙教育を使うことのよさ）**

①未知な「宇宙」を題材とすることで、色や物、生きもの、時代、空間など様々な視点から想像を広げることができる。

②子どものもっている「宇宙」のイメージを共有することで、宇宙は未知なものであり、色やもの、生きもの、時代、空間など様々な視点から自由な発想が許容されるような雰囲気をつくることができる。

③実際の宇宙のことを知ることで、今までの宇宙のイメージと比較したり、まだまだ宇宙についてわかっていることが少ないことを知ったりし、好奇心をもちながら「行ってみたい、見てみたいわたしの宇宙」について想像を広げることができる

**７　題材の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・宇宙にあるものをかくことを通して、形や色などの感じ、それらの組み合わせによる感じが分かっている。（知識）  ・水彩絵の具や筆などを適切に扱うとともに、前学年までの描画材などついての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。（技能） | ・形や色、それらの組み合わせによる感じをもとに、自分のイメージをもちながら、感じたことや想像したことから表したいことを見付け、形や色などを生かしながらどのように表すかについて考えている。（発想や構想）  ・形や色、それらの組み合わせによる感じをもと  に、自分のイメージをもちながら、自分や友だ  ち作品のよさや面白さ、いろいろな表し方など  について感じ取ったり考えたりし、自分の見方  や感じ方を広げている。（鑑賞） | ・つくりだす喜びを味わい進んで宇宙にあるものを表したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。 |

**８　題材の指導計画・評価計画　（５時間扱い，本時は１／５）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **時** | **○目標** | **・学習活動** | **評価の観点** | | | | |
| **知・技** | | **思・判・表** | | **主** |
| **知識** | **技能** | **発想構想** | **鑑賞** | **態度** |
| **１　本時** | ○「宇宙」の様子を知ったり、  どのように表したいか想像  したりし、絵や言葉で表すことを通して、形や色などの感じがわかる。 | ・「宇宙」と聞いてイメージする空間や、そこにあるもの、いるものなどについて友だちと話し合ったり、「宇宙」についての話や映像を見たりして想像を広げ、「行ってみたい、見てみたい私の宇宙」をワークシートに言葉や絵でかく。 | ○ |  |  |  | ◎ |
| **２・３・４** | ○星や宇宙にあるもの感じたことや想像したことから発想を広げ、自分が表したい宇宙になるように表し方を工夫して表す。 | ・アイデアスケッチやメモをもとにして「行ってみたい、見てみたい私の宇宙」を、発想を広げながらこれまでに経験した表現方法や描画材料を工夫しながら表す。 | ◎ | ◎ | ◎ |  |
| **５** | 〇自分たちの作品を見て、感じ取ったり考えたりしたことを話し合い、自分の見方や感じ方を広げる。 | ・「わたしの宇宙」の物語について、よさや違いに気づき話し合う。 |  |  |  | ◎ |

〇・・・題材の評価規準に照らして，適宜，児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎・・・題材の評価規準に照らして，全員の学習状況を記録に残す。

**９　本時の授業計画**

1. **本時の目標**

「行ってみたい、見てみたい私の宇宙」をどのように表したいか想像を膨らませ、絵や言葉で表すことを通して、形や色などの感じがわかる。

**（２）本時の流れ**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **学習活動と内容** | **指導上の留意点** | **【評価の観点】**  **〈評価の方法〉** |
| **導入１**  **(5分)** | **・「宇宙」のイメージを話し合う。**  T：宇宙と聞くとどのようなことをイメージしますか。  C：真っ暗な中に輝く星があるよね。  C：星が集まっていて川みたいに見えるよ。  C：なんでも吸い込むブラックホールがあるよ。  C：宇宙人がいるかもしれないよね。  「行ってみたい、見てみたいわたしの宇宙」を想像しよう。 | ・子どものもっている「宇宙」のイメージを共有することで、宇宙は未知なものであり、自由な発想が許容されるような雰囲気をつくることができるようにする。 |  |
| **展開１**  **(分)** | **・宇宙について知る。**  T：宇宙に行くためには何を使うかや宇宙へ行くと人はどうなるか、宇宙から見た星などを知っていますか。  C：宇宙へいくためにはロケットを使うんだね。いろいろな形があるよ。  C：宇宙から見た地球ってきれいだな。  C：他の星も輝いてるね。どんな色をしているのだろう。  C：誰か住んでるのかな。  C：月や火星に住む計画もあるのか。  T：宇宙はまだまだ分からないことばかりです。 | ・実際の宇宙のことを知ることで、今までの宇宙のイメージと比較したり、まだまだ宇宙についてわかっていることが少ないことを知ったりし、好奇心をもちながら「行ってみたい、見てみたいわたしの宇宙」について想像を広げることができるようにする。 | **【態】**  「宇宙」の様子を知り、「わたしの宇宙」を描くことをたのしもうとしている。している。 |
|  | **・「わたしの宇宙」について想像を広げ、ワークシートに言葉や絵で表す。**  T：あなたの行ってみたい、見てみたい宇宙はどんなものがありますか？何がいますか？どんな色ですか？そこではどのようなことが起こっていますか？想像してみましょう。  C：たくさんの宇宙人が違う星をロケットで旅をしているよ。  C：七色に光る天の川でみんなが滑り台をしているんじゃないかな。  C：ずっと遠い惑星にはまだ恐竜がいるのではないかな。  C：僕の宇宙は宇宙で泳げて、緑がたくさんある星があるよ。太陽も３つあって、他の星はいろいろな色で輝いているよ。  C：私の宇宙はみんなクジラのロケットに乗って、違う星に旅行に行くよ。 | ・未知な「宇宙」を題材とすることで、色や物、生きもの、時代、空間など様々な視点から想像を広げることができるようにする。 | **【知】**  宇宙にあるものをかくことを通して、形や色などの感じ、それらの組み合わせによる感じが分かっている。  **〈観察,ワークシート〉** |
|  | **・言葉や絵で表したものを見せ合って、想像を広げる。**  T：友だちとワークシートを共有しましょう。  C：ロケットが生き物の形なのが面白いな。  C：宇宙全体じゃなくて惑星でどのように生活するところをかくのもおもしろいね。  C：自分のワークシートにアイデアを足していこう。 | ・言葉や絵で表した宇宙を共有する時間を設定し、自分のアイデアのよさに気付いたり、新たな発想につなげたりすることができるようにする。  ・ここで描く「行ってみたい、見てみたいわたしの宇宙」は完成ではないことを確認し、さらに発想を膨らませることができるようにする。 |  |
| **まとめ**  **(○分)** | **・次時への活動の見通しをもつ。**  T：次の時間ではワークシートをもとにこれまでに学習した表現方法や道具を活用してかいていきましょう。  C：絵の具やクレヨン、パスを使おう。  C：クレヨンをぼかしたり、絵の具をにじませたりしたよね。 | ・これまでに学んできた表し方や描画材料を確認することで、自分のイメージに合った表し方を見付けることができるようにする。 |  |

**１０．教材情報**

APRSAFポスターコンテスト

<https://edu.jaxa.jp/activities/APRSAF/POSCON/>

協力：相模原市教育センター